

肢体不自由の理解 ①・②	特別支援教育連携推進グループ・附属桐が丘特別支援学校 竹田 恵
-----------------	------------------------------------

副題：
「動きにくさのある児童生徒が抱える学習上の困難と学びやすさの工夫について」

講義内容：

肢体不自由の児童生徒たちは、さまざまな原因から身体に動かしにくさが生じることで、立つ・座る・移動する、食べる、書くなどの日常的な動作がスムーズに出来なかったり、物事に取り組むことに時間がかかったりします。また、動きにくさが手足や身体の動作だけではなく、学習上の様々な場面において影響を及ぼす場合があります。講義と演習を通じて、下記の5点を中心に、「動きにくさのある児童生徒の学びやすさの工夫」について一緒に考えていきましょう。

- ① 「動きにくさ」とは ～実際に体験してみましょう～
- ② 肢体不自由のある児童生徒の主な障害特性と学習上の困難について
- ③ 肢体不自由のある児童生徒に対する学習上の手だて・配慮の工夫と留意点
- ④ 肢体不自由のある児童生徒の実態把握
- ⑤ 児童生徒の学びをチームで支える～「個別の指導計画」の作成と活用～



＊附属桐が丘特別支援学校 HP より

講義で使用する文献等：

- ・資料は、Googleドライブにアップします(後日、URLをメールでお送りします)。
適宜ダウンロードや印刷等をお願いします。
- ・演習で紙と鉛筆を使用いたしますので、ご用意ください。

参考文献：

- ・肢体不自由のある子どもの教科指導Q&A(2008)筑波大学附属桐が丘特別支援学校 ジアース教育新社
- ・「わかる」授業のための手だて(2011)筑波大学附属桐が丘特別支援学校 ジアース教育新社
- ・授業を豊かにする筑波大附属特別支援学校の教材知恵袋【教科編】(2020)筑波大学特別支援教育連携推進グループ ジアース教育新社